

東金町一丁目西地区地区計画変更に向けた 意見交換会（第1回） 開催概要

■開催概要

- 日時：令和6年10月22日(火) 19:00～20:30
会場：金町地区センター 5階 ホール
参加人数：73名
説明概要：東金町一丁目西地区地区計画の変更方針案について



■当日の意見交換の内容（概要）

【歩行者の通行環境の改善（理科大学通りの拡幅）について】

頂いたご意見など	区の考え
道路拡幅後、残った宅地の用途はどうなるのか。	道路の拡幅範囲が重複している建物等は解体いただく必要がありますが、裏の区有地を代替地として再建できるよう検討しており、道路拡幅後も、現況と同様に店舗が立ち並びイメージです。
駅～地区センター区間の拡幅について、事業スケジュールを示してほしい。	地区計画を令和8年度末に変更することを目標としており、合わせて道路の拡幅部について、道路区域編入を行う予定です。次に、用地取得や調査・設計を行った後に、拡幅整備を行います。 まちづくりプラン（p18）のロードマップに示す通り、関係者、関係機関協議との協議交渉、道路拡幅までには中長期的に時間を要するものと想定しています。
理科大学通りを一方通行にして、歩行空間を拡幅する方が簡単でよいのでは。	当該道路は、水元方面からのバスが通る道路のため、一方通行にすることは難しい状況です。道路を拡幅することでバス・歩行者ともに安全に通行できるよう整備を進めたいと考えています。
金町駅前も歩行者で混雑しているため、早急に解消してほしい。 駐輪場をコンパクトにして脇の区有通路を広げることは検討しているか。	駅前広場の混雑に対しては、駅の改良を含めてJRとの協議を進めております。また、将来的に駅前広場を拡張することで、混雑の緩和を図ります。 駐輪場脇の区有通路は短期的な対応として整備したのですが、理科大学通りの拡幅に伴い、駐輪場を廃止し、区有通路と合わせて、沿道再建のための代替地として活用してまいります。
東京理科大学開学により人が増えることはわかってははずであり、対応が遅い。 長期的な対策ばかりなので、まず短期的な対策が必要。	これまでも地区センター前歩道の拡幅や、街路樹の撤去、駐輪場脇の区有通路整備など、短期的な対策を講じてきましたが、この度、本格的な道路拡幅を予定しており、沿道の皆様の生活再建も考えていく必要があることから、時間を要することについてご理解いただきたくお願いします。今後も、その他の短期的な対策について検討します。

【理科大学通り沿道の賑わいの維持、魅力向上について】

頂いたご意見など	区の考え
商店街の賑わいづくりには、都内の賑わっている商店街を参考にすることや、歩道上に街路樹やベンチなどを充実させることが必要。 歩行者が回遊して滞留するようになるには、魅力的な商店の進出が必要。学生向けに、音楽イベントができるミニシアターやライブハウス等の誘致を考えていただきたい。	今回はB地区のルールを提案しましたが、その他の地区についても、再開発や理科大学通りの賑わいを波及させることを検討していきます。 学生が多いことを活用した賑いづくりなど、(一社)みらい協議会と協力しながら、ハード整備と併せた検討を行っていきます。

次のページに続きます

【理科大学通り沿道の賑わいの維持、魅力向上について】

頂いたご意見など	区の考え
賑いや魅力づくりについては、学生や子育て世帯等、どこをターゲットにしていくのか。 漠然と、店舗を増えるようにまちを作っていくかということか。	理科大学通りは1階の住居系用途を制限することで店舗の連続性を担保し、賑わいの誘導を図ることができると考えています。ターゲットを絞って具体的な店舗を誘致するようなルールを決める予定はありません。
神楽坂のように、賑わいのある商店街は、狭い道路が多いと思う。理科大学生が行きたいと思う商店と、マンション住民が行きたいと思う商店は違うので、誰もが行きたい商店街を作るのは難しいと思うが、その点は検討したことがあるか。	理科大学通りは、歩行者の利用だけでなく、バス通りでもあることから、歩行者、車両ともに快適に通行できる道路整備を目指しています。 沿道建物1階の商業の連続性を生かし、商店街等と協力して魅力向上に向けて検討していきます。

【その他】（JR金町駅に関することについて）

頂いたご意見など	区の考え
理科大学通りは混雑により、危険な状況である。地区施設の広場1号の位置に西口改札ができれば安全になるのでは。	西口改札の設置については多々ご要望をいただいております。JRと協議をしていますが、JRより難しいとお話を受けています。
西口改札について、JRとどのように協議しているのか。	JRとは駅の利便性向上に向けて10年程協議してきており、その中で要望を伝えています。現在、主に南北通路の混雑具合について、駅改良を含めて意見交換しています。
西口改札については、ランニングコストの面から難しいと聞いた。南北通路の改善については、東側に一本通路を作る案と橋上化の案があると聞いている。 北千住のように駅を二層化するという意見もあったが、それはまちを壊すと思う。 B地区のスケジュールが10～20年かかると言っていたが、できることから進めていく必要がある。	現在、地上案と橋上案等検討を進めているところですが、南北通路の改善は喫緊の課題だと認識しており、JRと協議を進めています。

【その他】

頂いたご意見など	区の考え
C地区の地区施設の整備の方針に、地区北西側区道の歩行空間の拡充とあるが、何をするのか。	当該区道は歩行者の安全確保が必要と考えています。具体の整備については、地区の皆様と意見交換しながら進めていきたいと考えています。
区のまちづくりは、まちこわしである。 理科大学生は、大部分は水元金町に住んでおらず、理科大学通りは混雑するけど商店は繁盛していない。理科大学生になるべく地域に住んでもらい、大学生に協力してもらうことが必要。 駅については、新小岩駅のように3階建てにするべき。	課題を踏まえて、良いところを伸ばしていけるよう検討していきます。
駐輪場の台数確保と歩行者の通行環境改善のため、駐輪場の地下化が考えられるのではないかと。	駅西側の線路沿いの駐輪場を廃止し、理科大学通りの拡幅を行っていきませんが、再開発事業の地下1階に新たに区の駐輪場を整備し、必要台数を確保しています。
本日の意見交換会でかなり提案が出たので、コンサルと区が検討し、金町地域の改善につとめていただきたい。 亀有駅と比較して金町駅は見劣りしてしまうので、斬新な案を提案すべき。	頂いた意見を踏まえて真摯に取り組み、亀有や松戸に負けないまちづくりを進めていきたいと思っております。